



Online Learning
TOHOKU UNIVERSITY MOOC



Action oriented Research on Disaster Science

25 January, 2018

Free Online Course
※ In Japanese Only

防
災
学
的
実
践
的

東日本大震災の教訓を活かした
実践的防災学へのアプローチ

災害科学の役割



オンラインで学ぶ
東北大学MOOC

受講無料

東日本大震災の教訓を活かした
実践的防災学へのアプローチ
- 災害科学の役割

2018年 1月 25日開講

どなたでも受講可能

※JMOOC 公認プラットフォーム gacco への登録 (無料) が必要です

東北大学オープンオンライン教育開発推進センター





<https://mooc.tohoku.ac.jp/> secretary.mooc@grp.tohoku.ac.jp

東北大学 MOOC



東日本大震災の教訓を活かした実践的防災学へのアプローチ - 災害科学の役割 (東北大学サイエンスシリーズ)

東日本大震災による被害と教訓、復旧と復興の現状、解明されつつある過去の履歴や将来予測を紹介します。
国際的な防災取り組み、伝承に挑む活動、避難訓練の事例を通じて実践的防災学を展望します。

東北大学 災害科学国際研究所		東北大学 災害科学国際研究所	
津波工学 今村文彦 教授		第一週 東日本大震災前の取組と被害実態 —事前対策と事中共応	
		第二週 被災地での復旧と復興 —人間・社会的側面	地質学 後藤和久 准教授
	災害情報 災害伝承 災害復興 佐藤翔輔 准教授	第三週 地震・津波のメカニズムと履歴・将来予測 —自然科学と防災への役割	津波工学 防災・危機管理 安倍 祥 助手
		第四週 実践的な防災学と国際防災戦略 —一次への備え	

2018年 1月 25日 開講

受講登録受付中

東日本大震災の経験と教訓を踏まえ、また多発する国内外での自然災害の発生を受けて、自然災害対策・災害対応策や市民・社会の自然災害への処し方そのものを見直す必要があります。社会の変貌の中、災害や影響自体も変化しており、様々な災害の被害軽減に向けて社会の具体的な問題解決を指向する実践的防災学の礎を築くことが重要です。

その基礎となる災害科学は、事前対策、災害の発生、被害の波及、緊急対応、復旧・復興、将来への備えを一連の災害サイクルととらえ、それぞれのプロセスにおける事象を解明し、その教訓を一般化・統合化することです。

本講座では、東日本大震災における調査研究、復興事業への取り組みから得られる知見や、世界をフィールドとした災害科学研究の成果を社会に組み込み、複雑化する災害サイクルに対して人間・社会が賢く対応し、苦難を乗り越え、教訓を活かしていく社会システムを構築するための試行を紹介します。

講座は4つの構成で形成されており、各専門の教員が最新の知見や様々な知識・情報を提供します。第1週では、事前の取り組みの紹介も入れた被害実態と今後の教訓を概説し、第2週では、人間・社会的側面を入れた被災地での復旧と復興を紹介し、第3週で、自然科学と防災への役割に視点を置きながら地震・津波のメカニズムと過去の履歴さらに将来予測についての研究事例を紹介します。最後に、仙台市で開催した2015年国連防災世界会議での議論と仙台防災枠組の取り組み、防災啓発・防災教育の現状、記録・伝承に挑む取り組み、被災地での避難訓練事例などを紹介して実践的防災学の事例と将来を議論します。

なお、本講座は「東北大学サイエンスシリーズ」の第2弾です。

「男と女の文化史」 受講登録準備中

(東北大学で学ぶ高度教養シリーズ)

東北大学大学院文学研究科

高橋章則 教授

嶋崎 啓 教授

芳賀京子 教授

横溝 博 准教授



2018年 5月 開講 (予定)

受講登録はコチラ (無料)

QRコードまたは下記で検索



※受講にはインターネット接続が可能なパソコン、スマートフォン、タブレット端末等が必要です。